

7月16日、群馬県高崎市で市田忠義書記局長を迎えて開かれた日本共産党演説会で、新田みどり農業協同組合（JAにっただみどり）の橋場正和代表理事組合長が応援演説をしました。その全文を紹介します。

私どもは日本共産党支持を決めました。TPP（環太平洋連携協定）を含めていろいろな問題、いろいろな政策がいつもぶれて、国民受けをするような選挙のための政策を打ち出している民主党には、つくづく嫌気がさしました。

自分たちの気持ちを、自分たちの生活を守ってくれる日本共産党に、これからの政治をお任せしたいという気持ちでいっぱいあります。

私ども農業団体も久しく自民党一党でありましたけれども、今度の選挙は自主投票と決めさせていただきました。そこで私は一番早く、日本共産党支持を表明いたしました。

40年間にもわたって、自民党の役員、あるいは今まで県議会の幹事長をしている方の後援会長もしてきました。しかしながら自民党も先日脱退をいたしました。誰のためでもありません。自分のためであります。自分たちの仲間の生活を守るためであります。

今日は、大勢の党員みなさんに呼びかけをするのではなくて、私同様に今まで共産党とほとんど無縁に近かった、支持もしなかった人たちに、私どもの心の声をぜひ聞いていただきたい。

自分たちの生活を守るためには、自分たちの現状をよく理解していただいた上で政策を前面に出し、どんな世の中でも自分たちが幸せに暮らせるような政党を支持していきたい。その気持ちでいっぱいあります。

私はいわば自民党の異端者かもしれません。それで結構であります。自分の生活を自分で守るために、日本共産党を、命の続く限り、これからも組織をあげて支持いたしますので、お集まりのみなさんにもご了解をいただければと思います。

生活を守っていただけるのは、日本共産党以外にどこの政党でもありません。正しい声を日本の政治に反映しようではありませんか。そのためには、みなさんのご支持ご支援が、今まで以上に力を込めて、熱を持って頑張らなければいけないと思います。私も一生懸命頑張ります。みなさん一緒になって頑張らしましょう。